

科目名	会社法	科目分類	■専門科目群 □総合科目群		
			法律学科	□必修 ■選択	
			国際観光学科	□必修 ■選択	
英文表記	Company Law	開講年次	□1年 ■2年 □3年 □4年		
		開講期間	□前期 □後期 ■通年 □集中		
ふりがな	みちはた ただよし	実務家教員担当科目		修得単位	4単位
担当者名	道端 忠孝	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用		
授業のテーマ	現在社会において大きな役割を果たし、世界経済にも大きな影響力を有する大株式会社や中小株式会社の運営の基本を修得し、さらにその問題点を考えることができるようになる。				
到達目標	この授業の単位を修得した場合、次のような知識・能力を修得できます。 1、株式会社の運営・資本調達・合併等の組織再編などの概要が理解できるようになる。 2、株主総会や取締役会などの役割や招集手続の基本が理解できるようになる。 3、各種資格試験の受験対策となるほか、就職後に企業人として必要な最低限の知識が身に付く。				
授業概要	本講義では、株式会社の特徴および出資者である株主の権利義務や株式制度を明らかにし、株式会社の運営、特に株主総会や取締役会はどのように招集され、どのような権限をもつか、社長の地位・権限はどのようになっているか、取締役の義務・責任や必要な資本調達方法、合併等の組織再編方法などの基本を明らかにします。 また、その時々トピックスなどにも触れたり、地元の秋田銀行や北都銀行なども取り上げて、現実の株式会社の実態を織り交ぜながら講義します。				
授業計画					
第1回	ガイダンス、会社法の授業の概要	第17回	取締役の競業禁止義務、利益相反取引、報酬等		
第2回	株式会社の概要	第18回	取締役の義務、内部統制システム		
第3回	株式会社の意義	第19回	監査役の権限・責任、監査役会、会計監査人等		
第4回	株式会社の設立、発起設立と募集設立	第20回	監査等委員会設置会社		
第5回	株式会社の設立手続	第21回	指名委員会等設置会社の概要、各種委員会、執行役		
第6回	株式とは、株主の権利義務、株式の種類	第22回	役員の実任、責任免除・軽減、株主代表訴訟、多重代表訴訟等		
第7回	株主名簿等、株式譲渡自由の原則と制限	第23回	第三者に対する責任、コーポレート・ガバナンス、会社補償（補償契約）・D&O保険		
第8回	自己株式の取得、株式消却・分割・無償割当等	第24回	株式会社の資金調達、募集株式の発行（新株発行）		
第9回	株式会社の機関、機関設置のルール、上場企業（大会社）の機関設計の3タイプ	第25回	新株予約権、ストックオプション等		
第10回	株主総会とは、株主総会の招集手続	第26回	社債、新株予約権付社債		
第11回	株主提案権、議決権の行使、取締役の説明義務	第27回	会社の計算・会計、決算手続と計算書類、財源規制		
第12回	株主総会の決議と株主総会決議の瑕疵、株主優待制度	第28回	資本金・準備金とその減少、剰余金配当		
第13回	取締役の職務と権限、資格・選任・員数・任期・辞任・解任、社外取締役等	第29回	組織再編、M&A、事業譲渡、会社分割、		
第14回	取締役会、その権限、招集手続、取締役会の決議	第30回	株式交換、株式移転等、キャッシュ・アウト		
第15回	代表取締役、その地位と権限；前半まとめ	第31回	株式会社の解散・清算；後半まとめ		
第16回	前期定期試験	第32回	後期定期試験		
授業時間外の学習	1、授業開始前に教科書の該当箇所には必ず目を通してください。分からない用語は調べてノートにまとめておいてください。（1・5時間程度） 2、授業開始前に復習をし、ノート整理しておいてください。（1・5時間程度）				

	3、日頃から新聞に目を通し、切り抜き又はメモをしておいてください。(0・5時間程度)
履修条件 受講のルール	会社法の条文は民法典と同様、1,000カ条もありますので、テキストを購入して予習・復習をし、ノート整理をしてください。授業はテキスト中心に行います。また、適宜資料を配布しますが、事前に連絡なく欠席した学生には原則配布しませんので、友人同士でコピーしてください。
テキスト	「基礎から学べる会社法第5版」近藤光男、志谷匡史、石田眞得、鎌田薫子 弘文堂(2021)
参考文献・資料	六法。川井信之『手にとるようにわかる会社法入門』かんき出版、『会社法ビギナーズ』三省堂、神余博史『国家試験受験のためのよくわかる会社法』自由国民社、『ビジネス実務法務検定試験2級要点チェック』中央経済社。その他、必要に応じて講義時に紹介します。
成績評価の方法	【レポート(30%)、定期試験(70%)】以上の項目を基にして総合的に判断します。 <ul style="list-style-type: none"> ・出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることができません。 ・出席確認時に不在だった場合は原則としてその回は欠席とします。 ・授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。 ・授業の理解および予習復習が十分であるか確認するため、授業中に何回かレポート課題を出します。 ・レポート課題は授業内又は掲示板(ポータルサイト含む)で指示します。
オフィスアワー	毎週火曜日・金曜日 14:30～16:30
成績評価の基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	
学生へのメッセージ	わが国の経済、そして世界経済を動かす株式会社の仕組みを理解しましょう！できるだけ、ビジネス実務法務検定試験2級などの資格試験などにチャレンジして、キャリアアップを図りましょう。